

平成30年度第1Q定期試験・補講日程表 ※補講・定期試験期間中は教室が通常の教室とは異なる場合があります。以下の表で実施教室を必ず確認してください。

平成30年5月25日掲載

工学研究科学務課教務学生係

学科・専攻	試験/補講の別	実施日	実施時限	開講授業科目名称	時間割コード	主担当教員	使用教室	試験の持込資料	備考
博士課程前期課程 建築学専攻	試験	授業時間内に実施		建築環境システムA	1T414	高田 暁	C2-302		
	補講	6/4	1,2	固体計算力学 I	1T406	飯塚 敦	LR203		市民工学専攻と同時開講
	補講	6/7	2	建築構造システム論1	1T408	谷 明勲	LR303		
	補講	6/7	2	防振耐震工学1	1T409	藤谷 秀雄	C3-201		
博士課程前期課程 市民工学専攻	補講	6/1	3,4	都市地域経済学	1T453	織田澤 利守	C2-101		
	補講	6/4	1,2	固体計算力学 I	1T406	飯塚 敦	LR203		建築学専攻と同時開講
博士課程前期課程 電気電子工学専攻	試験	6/4	2	集積電子回路特論A	1T507	廣瀬 哲也	LR304	持込不可	
	試験	6/6	2	量子物性工学特論	1T501	相馬 聡文	LR404	持込可	授業で配布予定の指定書き込み用紙1枚のみ持込可
	試験	6/6	3	光電磁波論特論	1T502	森脇 和幸	C4-301	持込可	
	試験	6/7	1	プラズマ工学特論A	1T504	竹野 裕正	LR304		持込資料は授業で指示
	補講	6/4	3	電気電子工学ゼミナール	1T514	電気電子工学全教員	LR302,LR403		
博士課程前期課程 機械工学専攻	試験	6/5	1	人工システム開発論 I	1T561	妻屋 彰	LR303	持込可	
	試験	6/6	2	破壊力学 I	1T552	中井 善一	LR204	持込可	筆記具、教科書、自筆ノート、電卓の持込み可
	試験	6/6	4	信頼性工学 I	1T553	阪上 隆英	C4-201	持込可	持込:配布資料と自筆ノートのみ
	補講	6/6	5	先端ロボット技術論 I	1T562	蓮沼 仁志	5W-301		補講時間内に課題発表をします
博士課程前期課程 応用化学専攻	試験	6/1	5	化学英語演習	1T612	Mark J.Norton	LR203		持込資料については講義内の指示通り
	試験	6/5	1	応用物理化学1	1T601	石田 謙司	LR402	持込不可	計算科学専攻と同時開講、関数電卓のみ(スマホ不可)
	試験	6/5	2	反応工学特論1	1T607	西山 覚	C2-101	持込可	自筆ノートの持ち込みを認めません。また、関数電卓を持参して下さい。スマートフォンでの電卓アプリの使用は認めません。
	試験	6/5	4	多相系移動現象論1	1T608	鈴木 洋	C1-201	持込不可	
	試験	6/7	2	無機物性論	1T602	水畑 穂	LR404	持込可	
	補講	6/6	4	無機反応論A	1T603	成相 裕之	C2-201		
	補講	6/7	3,4	有機合成論	1T604	岡田 悦治	LR202		
博士課程後期課程 市民工学専攻	試験	別途指示する		地域システム解析論	1T753	井料 隆雅			
博士課程後期課程 応用化学専攻	試験	6/5	3	粒子流体工学特論A	1T903	鈴木 洋	別途指示する	持込不可	

平成30年度第1Q定期試験・補講日程表 ※補講・定期試験期間中は教室が通常の教室とは異なる場合があります。以下の表で実施教室を必ず確認してください。

平成30年5月25日掲載

工学研究科学務課教務学生係

システム情報学研究所 博士課程前期課程共通	補講	6/1および6/4	2	データマイニング論	1X005	上原 邦昭	LR303		
	補講	6/5	3	情報可視化論	1X006	坂本 尚久	情報基盤センター分館		
博士課程前期課程 計算科学専攻	試験	6/5	1	計算材料学1	1X302	石田 謙司	LR402	持込不可	応用化学専攻と同時開講、関数電卓のみ(スマホ不可)
	補講	6/7	5	大規模シミュレーション総論A1	1X303	今村 俊幸	LR204		

## 試験に関する注意事項

1. 受験の際、学生証を必ず携帯すること。
2. 試験室にて不正行為のあるときは、直ちに厳重なる処罰をする。  
#学生便覧を参照のこと
3. 試験開始後20分間は、受験者の退室を認めない。
4. 試験開始後20分を経過した後は、受験者の入室を許さない。
5. 答案用紙は、答案の成否に拘らず各枚毎に必ず学籍番号・氏名を記入して提出すること。
6. 答案用紙に他事記載を禁ずる。もしこれを記載したときは不利益を受けることがある。
7. 試験に不必要なものは、一切かばん類の中へしまいか又は所定の場所へ置くこと。
8. 不正行為と誤解を受けるような物が机の中にある場合あるいは机上及び周辺の壁に落書きがある場合は、試験監督教員に届け出ること。
9. 一旦退室した者は、いかなる理由によっても受験者全員の答案回収が済むまで再入室を許さない。
10. 携帯電話等の通信機器を時計もしくは電卓の代わりに使用することは一切認めないので、必ず電源を切った上でかばん等の中へしまっておくこと。  
試験中にこれらの機器に触れている場合もしくは机の上あるいは中に置いている場合は、不正行為とみなすので注意すること。  
(なお、試験時間中にかばん等の中で着信音やマナーモードの振動音等が発生した場合は、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出すことがある。)
11. 警報等の発令により試験が実施されなかった場合、代替日はその都度掲示する。

工 学 部  
工 学 研 究 科  
システム情報学研究科